



たけむら ゆうき  
**竹村 有生さん**

● 城東中 3年

## 未来を担う人を 育てる

私の将来の夢は、中学校教師になることです。

きっかけは、私が通う中学校の先生方との出会いでした。先生方は、いつでも生徒のことを思いやり、そして本気で向き合ってくれます。そんな姿を見て、私も教師になって少しでも生徒の役に立ちたいと思うようになりました。

教えることは、とても難しいことだと思います。自分なりの目標を持って、日本の未来を担う人たちを育てていきたいです。

### みんなの広場に 出てみませんか？

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。

※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■ 問合せ 政策調整課広報広聴係  
☎(20)3037

## すてき仲間たち



### 佐野ビデオクラブ

ビデオカメラは、最近では、誰もが簡単に撮影し、楽しめるようになりました。

私たち「佐野ビデオクラブ」では、三井一郎先生の指導を受けながら、随時撮影会を実施し、親睦を深めています。

今年の撮影会では3月に栃木市の星野の里、5月に葛生の嘉多山公園、7月には鹿沼市の磯山神社に行きました。また、11月には福島方面への撮影旅行を行いました。

四季折々の花や自然の情景に触れ、感動したものをビデオカメラで撮影し、編集などの技法を学び、誰もが喜んでくれるような作品作りを目指しています。

興味のある方はぜひご連絡を。一緒に撮影しましょう。

- 活動時間 第4水曜日  
午前9時～正午
- 活動場所 佐野市中央公民館
- 連絡先 内田☎(20)1057



#### 今回の表紙 「市内でのテレビ撮影」 金蔵院(仙波町)

市では佐野市観光協会を事務局として「佐野フィルムコミッション」をたちあげ、映画やドラマといった映像作品の撮影を誘致・支援しています。

市内での撮影状況のお知らせや、エキストラの募集をホームページ(<http://sano-film.jp>)で行っていますので、ぜひご覧ください。

おぐらひとみ  
小倉 一珠さん  
(赤見町)



# キラリ★

話題の「ひと」

○プロフィール  
平成4年4月生まれの福祉を学ぶ現役大学生。  
平成24年4月女性消防団に入団。  
市内における火災予防運動などに尽力。

## 防災活動から関わる地域福祉

12月になり、空気が乾燥する季節になりました。

市民の皆さんがお住まいの各地域には消防団があり、日々「自分たちの街は自分たちで守る」の精神のもと、昼夜を問わず、消防団員が活動されていますが、そうした消防団員のなかに、女性消防団員がいることを皆さんはご存知でしょうか。

そんな女性消防団員の一人である一珠さんは現役の大学生。今年の4月から、自ら志願して佐野市消防団員の一人となり、火災予防の啓発などの広報活動のほか、防火指導・応急救護指導・防火訪問などの活動を行っています。

志望動機は「大学の講義で防災も地域福祉に関わっているということを知り、女性消防団員として活動しながら、自分の目で見て地域に貢献するとともに、大学での学びをより深めていきたい」との思いから。

これまで6月の消防操法大会や9月の防災訓練など、さまざまな場面で活躍された一珠さん。実際活動してみても「応急手当普及員の資格を取ってみたいから活動の幅が広がりました。また、秋の防災訓練では地域の子どもから高齢の方まで幅広い年齢



▲防災訓練でAEDの使い方を指導する一珠さん（真ん中）

層の人々とAEDの使用方法を通して関わる事ができました」と話します。

今後の目標については「近年、少子高齢化が急激に進む中で、わたしたち女性消防団員が地域の方たちと積極的に触れ合い、地域住民一人ひとりが孤立することなく互いに助け合えるように繋がりを強めるきっかけづくりを、防災啓発などさまざまな活動を通して努めていきたい」と話していました。

女性消防団員という立場から、地域福祉に参加することにより、福祉への理解を深め、思いを強めた一珠さん。今後のご活躍をご期待いたします。

なお、市では男女を問わず、消防団員を随時募集しています。興味のある方は市役所消防室（☎203040）へお気軽にご連絡ください。

## 市長からの

## メッセージ



朝晩の冷え込みも厳しくなりました。早いもので、師走を迎え、一年を振り返る時期になりました。

先月は、栃木県知事選挙が行われましたが、投票率は低調でした。今月には衆議院議員選挙が行われます。昨今の政治離れ、無関心といった状況を見るにつけ、市長として、また一政治家として、残念な思いがしています。

さまざまな理由があるかと思いますが、大切なことは、私たちがこの現実に向き合い、自分の持つ権利と義務を通して、自らの意志を表明していくことだと考えています。市民の皆さん、現在の日本の厳しい状況を乗り切るためにも、もう一度、政治について考え行動に移してみませんか。まずは投票に行くことから。

話は変わりますが、先月、栃木県「道の駅」首長懇談会が開催され、県内17首長、国・県の関係者で、道の駅の現状と課題、今後に期待される役割や可能性などについて意見交換をしました。私も「どまんなかたぬま」の躍進について説明しました。

道の駅は、単に休憩所としてにとどまらず、防災や地域活性化、情報発信などの機能を担うことができるという点で意見の一致を見ました。私が懇談会の初代会長に就任しましたので、これから連携を強化し、地域発展のために努力していきたいと思っております。

今月9日には、年末恒例の佐野マラソンが行われます。毎年、3500人以上のランナーが本市に集い、健脚を競います。寒い時期ですが、市民の皆さんもできる範囲で体を動かし、健康維持に努めましょう。

何かと忙しい時期です。市民の皆さんもご自愛ください。

岡部正英